

新型コロナウイルスワクチンの副反応に関するご相談について

接種後は、注射した部分の痛みや腫れ、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、悪寒、発熱等の副反応が起こることがあります。

治療を要したり、障害が残るほどの重度なものは極めてまれですが、何らかの副反応が起こる可能性をゼロにすることはできません。



接種後に何らかの副反応を疑う症状が起こった場合、ご心配であれば、身近な医療機関（接種を行った医療機関、かかりつけ医等）を受診し、医師にご相談されることをお勧めします。

なお、県ではワクチン接種に係る副反応相談窓口を設置していますので、こちらにご相談いただくことも可能です。

静岡県新型コロナウイルスワクチン接種副反応相談窓口

電話番号：050-5445-2369

受付時間：午前9時～午後10時（毎日（土日・祝日含む））

※通話料は相談者様のご負担になります。

※接種の予約、接種券、接種場所等の接種実施に関するお問い合わせは、住民票のある市町のコールセンターにお問い合わせください。

聴覚に障害のある方の相談窓口

E-mail : Shizu.vaccine@gmail.com

お問い合わせ先：静岡県 健康福祉部 新型コロナウイルス対策課 機動第3班
電話番号：054-221-2218（平日：8:30～17:15）

接種後、すぐに現れる可能性のある症状について

アナフィラキシー	<ul style="list-style-type: none">・薬や食物が体に入ってから、短時間で起こることのあるアレルギー反応です。・じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状が、急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下（呼びかけに反応しない）を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。・起こることは極めてまれですが、接種後にもアナフィラキシーが起こっても、すぐに対応が可能なよう、ワクチンの接種会場や医療機関では、医薬品などの準備をしています。
血管迷走神経反射	<ul style="list-style-type: none">・ワクチン接種に対する緊張や、強い痛みをきっかけに、立ちくらみがしたり、血の気が引いて時に気を失うことがあります。・誰にでも起こる可能性がある体の反応で、通常横になって休めば自然に回復します。・倒れてケガをしないように、背もたれのある椅子に座って様子を見てください。

ワクチンを受けた日の注意点

- ・激しい運動は控えてください。
- ・接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分は強くこすらないようにしましょう。

接種後、数日以内に現れる可能性のある症状について

発現割合	症状（大部分は、接種後数日以内に回復しています）
50%以上	接種部位の痛み、疲労、頭痛
10~50%	筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ
1~10%	吐き気、嘔吐

出典：「新型コロナワクチンを受けた後の注意点」（厚生労働省資料）